

H29. 7. 27 東淀川区区政会議 第2回 防犯・防災部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成 29 年 7 月 27 日(木)午後 7 時から午後 8 時 東淀川区役所 4 階 401 会議室

出席者 防犯・防災部会委員 9 名

議題 1 (仮称) 東淀川区将来ビジョン～2022 年に向けて～(素案)について

(防災について)

- 災害時はどこも一緒になる。地域単位(小学校区)でなく、中学単位や大学エリアなど地域間の大きなエリアで考え、交流していく方向で考えていただきたい。
- 避難所が少ない地域・多い地域がある。近隣地域で連携・協力して、もしもの時は助け合えたらいい。
- 「災害時に要配慮者に支援が届くように平時から地域の人とつながりをつくる」としているが、平常時に見ているといざとなると我々が何とかしないといけないということが地域においてプレッシャーになっている。具体的にどのような形ですのかまとめてほしい。

(防犯について)

- 防犯も地域だけでなく大きなエリアで一緒に展開していくべき。青パトで回るときによその地域も回ると抑止効果が高まる。各地域で回ってほしいルートを教えあってはどうか。
- 特殊詐欺の電話があったときに相談する場がないのが大きな問題ではないか。文言として必要では。

- ・特殊詐欺の相談窓口としては、専用の窓口はないが、警察・区役所・市の消費者センターに連絡を入れていただくことになる。整理したものを情報提供することも考える。

議題 2 平成 30 年度取り組みの方向性について

(人材・他団体との連携強化について)

- 人材の問題。団体・企業・学校等との協力・連携関係づくり。お互いのよいところを合わせて事業に応じた形で他団体との連携強化していくことが防災でも防犯でも必要。
- 若い方の人材不足というが、いざという時に仕事に行き地域にいない人よりも、地域にいる元気なお年寄りを有効活用し手伝ってもらえる手もあるのでは。

(周知啓発について)

- 特殊詐欺や女性犯罪に関する周知啓発
- 市の消費者センターの悪徳商法の出張講座などの活用方法を考えもっと活用しては。
- 高齢者が集まるようなところで特殊詐欺に関する映像放映や講習会をするといい。

(青パトについて)

- 青パトでほかの地域も回ると抑止効果。
- 青パトの高齢化が進み免許を返上しないといけない状況。違う地域を回ると地活協予算をどう処理するかという問題もあり、全域で走るのは難しいのでは。
- 青パトに入れているSDカードの音声の種類があまりにも少ない。夏休みバージョンなど種類を増やし臨機応変にならないか。
- 青パトの音声長い文章では車で回っている中で伝わりにくい。一瞬のインパクトのある内容の方がいい。「青パトが回っています」というだけで防犯アピールになるのでは。

(自転車マナーについて)

- 自転車マナーの啓発も青パトで啓発してはどうか。
- 自転車マナーは地域地域でどこを通るべきか違い、何が正しいかルールがわからない。講習会などもっと周知してほしい。
- 自転車走行のマップを作って子どもたちや家庭に周知してはどうか。

- 警察に確認するが、青パトでの交通マナー啓発は可能性ある。検討していきたい。